

福不城と民衆

発行日 十一月廿一
（毎月三回）
編輯兼發行者 齋藤角治
印刷所 福島縣平南町七十八
發行所 警報之民衆社
廣告料 普通一行五十錢
特別 七十錢
一部十錢 月刊廿錢 送料共

今秋の縣議選に就て

緒て一幕の芝居もどきに亘ることは絶對に止めて貰つて飽くまで大衆の輿望のもとに堂々信望を擔ひ縣民代表たるの資格に恥ぢず良心の本能により善處されん事が選挙民諸氏の要望たるべきも附して當選確實と見らるる出陣者の顔振れを見渡すに……民政黨候補として順序上支部幹事長である萩原義雄氏、野崎滿藏氏、比佐氏の堅城を守る忠義者の石川湯本町長徳壽氏、草野顧問格を推すことならうが、郡南にも人格識見共に備はる植田消防組頭坂本龜次郎氏の呼聲もあり、小松章氏の出馬を促すものもあり多し濟々なるが、常に統率欠かざる黨としてその段取りを誤る選衡はなき筈である。智將としての鈴木盛之助氏亦此の間奔命を誤らざるべきは勿論であるから選衡も眞重に縣民の輿望大にして落選の憂き目なきものが送り出されることならう。

家政婦の足踏

田舎、善良なる人に限らず看護婦よりも安い

自然的弊害を未然に防ぐべく警告!!!
◆貴重なる生命を依頼する者の爲に
◆金と命の高底を誤る人は亦格別
或は謂ふ。近頃流行だした家政婦は安價にして而かも事足りぬといふ蓋し安價最上も結構。結構だが……その素質の如何は貴重なる生命支配の鍵であるといふことに囑するにせよ實に留意寒心すべき肝要事たるを失はずに留意せよ。限らず看護婦よりも安い

立志傳中の人

常磐炭礦 小田吉治氏 界の王者

而かも一代にして百萬の富を積天下を掌握せる太閤秀吉たる幼むで尙ほ怠らず不撓不屈愈々大時の日吉丸の概ありしことは、成を指して徳嗣を續けつゝあ氏を知る者の悉くが賞讃し盡しる人に常磐炭礦界の王者小田吉治氏がある。斯くして今日の榮達を得、尙「朝然して氏が今日の成功を贏ち得は霜に起き、夕は星を浴びて歸たることは實に一朝一夕の苦闘」奮闘に餘念がないことは全にあらざるに終始一貫、而も血に於て氏の多くに優れたる全貌云ふべく、亦氏は社會公益のためを物語るに足るものがある。めにも濃粹されつゝあることも、想ひ見よ、氏が未だ嘗つて不名有名である。優れたる事業經營の礦業者であつた時代既に後世才腕の所有者である。

いふ單純な見解のもとに万事万能なる場合「ヤサシクシテクレル」糞小便の世話ばかりでなく病者の目の色位の見解以外つかざるオサンドン式のものか或は看護婦代用的に化け込むだ所作に出るにせよ病者のために痛心措かざる次第であるにこそ氣の毒に堪はざるものがある。果して云ふ決して生命の支配されることには「ナツバヤサツマイモを買ふ手ではなのである」此の手による安いことだの輕便だのご計定する前に而も自己を顧み處決すべきである。

信用は必ず實なり。
炭礦界の雄・萩原申八氏
三井より七十萬坪の優良
鑛區を買収して愈業績の大成に……
仁徳の人として亦炭礦界の名星萩原礦業所長萩原申八氏の名はとして週知されてゐる小田炭礦余りにも讃褒の的となつてゐる

眞言
○此の間本紙が農工平支社長を評して根が神官の家に生れただけに農工支社長として半平民半官を標榜して一生に徳望を以て貫いた江口忠一氏の輝耀、平町始つて以來の盛儀と聞く、聞くものも靈や永しに安らかならんと金を持つたからつてあんまり大きくなるのはよせよ、此頃某炭礦主の評判があまりに句ならん威張るやうなことをして威張つて見ろ。
○富岡町長問題……あんまり長延く、果して富岡町には人物

が、彼の小田炭礦の經營の如き有ゆる善心と努力を惜まざり現在あらしめた氏の功績は報いられて而も大三井の信望を博する点にまでも優良大鑛區七十萬坪を買収し本年四月頃から採掘の運びを見るに至り益々氏の敏腕は堅實に振はれることになつた信用は必ず實であり、氏の面目や實に躍如たるものがあるではないか。

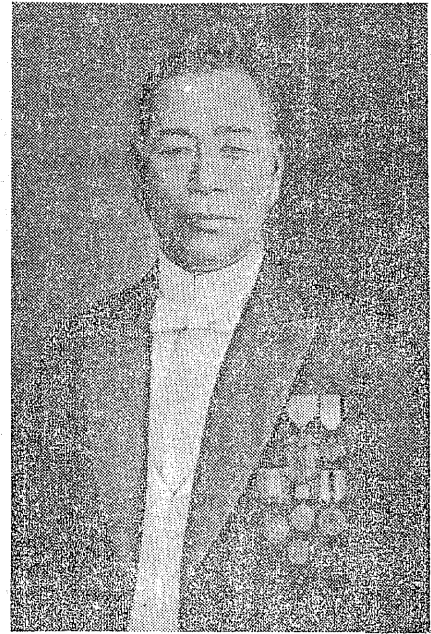
農業界の恩人
矢ヶ崎 諫氏
本郡神谷村にある福島縣農事試験場に在職されてゐる農業の大專家矢ヶ崎諫氏は温容なる人格者として亦其の學識技能を週知されてゐるが、氏は常に農民幸福のために努力を惜まず日尚足らずとして其の指導に最全を盡してゐる。

双葉通信
○大久村は他村に魁けて自力更生の實績を擧げつゝあることは誠に嬉ばしい次第だ。要するに村長としての柳内氏を甫め村民が擧つて意を強ふしつゝある賜と云ふべきであらう。

が、彼の小田炭礦の經營の如き有ゆる善心と努力を惜まざり現在あらしめた氏の功績は報いられて而も大三井の信望を博する点にまでも優良大鑛區七十萬坪を買収し本年四月頃から採掘の運びを見るに至り益々氏の敏腕は堅實に振はれることになつた信用は必ず實であり、氏の面目や實に躍如たるものがあるではないか。

賢男賢婦欄 (一)

植田消防組頭 坂本龜太郎氏



(氏郎太龜本坂)

信用に富む立派なる實業家の典々たる人である。或は今秋の縣型として今日の成功を納め、亦議院に推されて出馬するに開く社會事業の功績者として知られ出馬の上は當選の榮冠斷じて疑名譽ある消防組頭として名譽噴いなるべし。



(氏造市山秋)

本縣木材界の重鎮として知らるゝ霸氣充溢せる才腕の健闘家、氏の大成功を期して待つべきものがある。



(史女ヨキ野清)

平産婆看護婦學校長として令名ある校長清野キヨ女史は婦女子の典型として男の性も及ばざる堅志を有し平産婆看護婦學校長と柱石として各科擔任の醫員亦秀して忍苦二十年才備ひの陣容により恐らく誠意今や縣下に其の懇切を念願として經營され居る雄を誇る唯一校關係上一日は一日を加へて繁榮を招かし今日の盛況を見るに至る

齒科醫 中野氏を訪ねて

記者は平町田通りに客年中堂その後折々訪問しては氏が如何々と開業された齒科醫の權威とに斯界の上に勇躍と貢獻とを齎して遠く關西方面にまで令名をしつゝあるその蘊蓄されてある馳せてゐる中野惠次氏を訪れて立派な識知と體験の一片なりを會つた當初からその好印象を忘るべきばかりではなく齒の關係上有意義なることが出来得なかつたので義な氏の談話を嘗へ十行づつでつゝある。

堂々

磐城郷土を代表するに足る

磐城共濟病院は茨城縣助川鑛山に迄進出の繁榮を見るに至つた。院長に刀圭の權威であり人格者で週知さるゝ石山謙郎博士を看護婦學校長と柱石として各科擔任の醫員亦秀して忍苦二十年才備ひの陣容により恐らく誠意今や縣下に其の懇切を念願として經營され居る雄を誇る唯一校關係上一日は一日を加へて繁榮を招かし今日の盛況を見るに至る

豫期通り

長谷川林平氏 四倉町助役就任

過般満場一致四倉助役に昇任された長谷川氏は書記在職中より敏才の聞へ高かつた温厚の士であるだけに町民は擧げて氏の力量による手腕の運用を待望されつゝある。

江名町々長問題

結局河野氏再選か

縣下町長として週知されてゐる現江名町長河野喜藏氏。任期りとして知らるゝ西山惠一氏と満了に付き當然同氏の再選を豫期する各方面に觸手を延し信望想されてゐるが、一、二町長た欠かざる資本家である河野氏の合心と、亦近藤吉松氏を町長に擁立する以上今よりその榮昌を待望せんとする一派もあることゝなつてゐる。

も書かしてもらいたいといふ念慮であつたが、いつも記者が訪問した時は患者満員で會談の寸暇ないため遠慮して歸つたが、此の間失禮とは思つたが早朝訪問して幸ひ廿分余會談する事が出来たので、記者は希望しつゝあつた齒の攝養に就て裨益となるべき談話を毎號紙上掲載を願はれまいかと頼みし「之れは記者程齒の爲め悩むだものも恐らくは少ないだらうといふ念慮も手傳つて」が記者は忙しむの事だからどういふ挨拶に接する事かど心中に多少の不安もあつたが、齒科醫の本分として斯界のために氏の眞精神の迸るところ實に感激に價へするものがあつた。氏は此の話題に移つた時彼の引締つた口

多少の迂餘曲折は當然免れぬ事ではあらうが結局は常に江名開の再選を確實と見られてゐる。一徳合資會社の進。本店を仙臺に有し平町、小名濱、茨城、大津町に支店を有する一徳合資會社は商品日掛販賣の權威としてその堅實なる業績を一般より確認せられ既に平町に支店を開設以來一週年を迎ふるに至り益々一般庶民の輕便なる融通機關として好評を博してゐる。

支店開設 一週年記念 有給外務員大募集

一徳合資會社 平支店 平町南町一九

平陽入學生の福音 女子教育の大家として週知さる平、平陽女學校の創設者西井みよ子女史の愛孫らしい子嬢は全校中に優秀なる成績を誇りつゝ三月日白女子大學師範部家政科を卒業し自校に教鞭を執ることゝなつた。

工業界に躍進する 西山兩氏合同 鐵工場の新設

縣下町長として週知されてゐる現江名町長河野喜藏氏。任期りとして知らるゝ西山惠一氏と満了に付き當然同氏の再選を豫期する各方面に觸手を延し信望想されてゐるが、一、二町長た欠かざる資本家である河野氏の合心と、亦近藤吉松氏を町長に擁立する以上今よりその榮昌を待望せんとする一派もあることゝなつてゐる。

歡迎觀梅客

水戸市長 中崎俊秀

市會議員 弓削徳次

常磐銀行本店

常磐病院

常磐新聞社

茨城工業俱樂部

映畫 借邊知良

第一生命保險水府事務所

水戸市料藝業組合

外岡時之介

水戸市梅羊羹の井熊

井熊製菓株式會社

杉山炭礦鑛業所

石城郡内郷村白水

鑛主 杉山今朝吉

洋反物 其他各種卸商 新式綾毛朱子 水戸市向井町席小路 電話 一三三三番

金川井正光商店

平三業保險組合 改選役員

組合長 佐々木熊吉

副組合長 宮内保太郎

會計 田崎信徳

評議員 上田正隆

衛生員 佐藤清六

大越久次郎

漆間善助

田中恒次

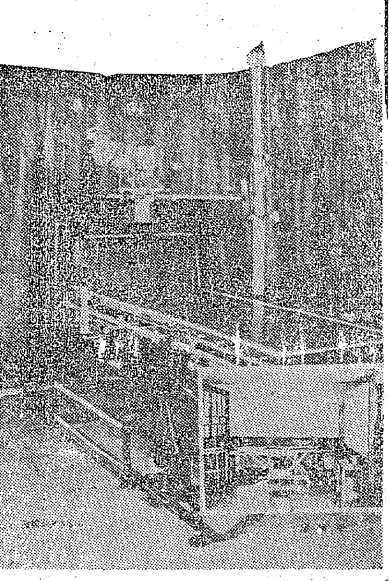
渡邊九郎兵衛

文務大臣 藤田女學校 募集

一、願書受付 三月三十一日まで

二、詳細は學則請求のこと

平町田町 (電話三二八番)



院醫科外橋諸 町川新町平 番四六四話電